

NPO 法人プラスチック人材アタッセ平成22年度ビッグ・イベント！

「自動車講演会」のご案内

- (主催) 特定非営利活動(NPO)法人プラスチック人材アタッセ
- (協賛) <社>大阪府産業支援型 NPO 協議会
- (協賛) (社) 大阪府異業種交流促進協議会
- (協賛) 東大阪商工会議所
- (協賛) NPO 北大阪経営支援マスターズ
- (協賛) NPO 地域基盤技術継承プラザ
- (協賛) NPO 中小企業サポート隊
- (協賛) (社) 大阪府経営合理化協会
- (協賛) プラスチック技術協会

謹啓 貴台には、平素よりNPO法人プラスチック人材アタッセにつきまして格別のご理解とご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて当NPO法人におきましては、下記の要領で、掲題の平成22年度ビッグイベント講演会を開催致し「**新たな出会い**」を実現し、**NPO 活動活性化の場**と致したくここにご案内申し上げますので万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜ります様、お願い申し上げます。 謹白

記

1. 平成22年度ビッグイベント講演会

1) 日時：平成22年10月22日(金) 14時00分～16時50分

2) 場所：**大阪産業創造館 6階会議室B**

大阪市中央区本町1-4-5；TEL：06-6264-9808

3) 演題Ⅰ：「自動車におけるプラスチック材料の開発動向」

ダイハツ工業株式会社 材料技術部 主査 二井 雅人 氏

演題Ⅱ：仮題 「あっぱれ！“EV電気自動車プロジェクト”講演

株式会社淀川製作所代表取締役 小倉 庸敬 氏

(あっぱれEVプロジェクト代表)

2. 講師を囲む懇親交流会

NPO 法人ビッグイベント講演会に出席します。

欠席します。

講師を囲む懇親交流会に出席します。

欠席します。

ご所属： _____ ；

TEL： _____

ご芳名： _____ ㊟

☎なお、講演会は、参加費無料です。講演会のあと、講師を囲む懇親交流会(3,000円/お一人)を行ないますので是非ご参加下さいます様に！

特定非営利活動(NPO)法人 プラスチック人材アタッセ
〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35
大阪商業大学・学術センターアントレラボ
TEL：06-6784-0065；FAX：06-6784-0049
URL：<http://www.npo-pha.org>； E-mail：info@npo-pha.org

タイトル 自動車におけるプラスチック材料の開発動向

サブタイトル _____

講師 二井 雅人 (フタイ マサト)

《略歴》

1983年 ダイハツ工業(株)入社 実験部・材料研究課配属
2001年 材料技術部 材料開発室 室長
2007年 材料技術部 材料技術室 室長
2010年 材料技術部 主査

《概要》

1. 会社概要
2. 自動車を取り巻く環境
3. 自動車のプラスチック材料の開発課題
4. プラスチック材料の開発動向
5. おわりに

2010年2月25日

【がんばれ！！ものづくり日本】守口、門真の新たな挑戦



家電部品から電気自動車へ

大手家電メーカーの企業城下町、大阪・門真、守口市。国際化や円高の波で多くの工場が海外へと移転するなか、町工場が連携して小型の電気自動車(EV)を開発する試みが注目を集めている。従業員16人の金属加工業「淀川製作所」(守口市)などが進める「あっぱれEVプロジェクト」。小倉庸敬社長(52)は「不況で暗い話題が多いが、『町工場のおっちゃんもやるやんか!』と全国に元気を発信したい」と目を輝かせる。

町工場が立ち並ぶ守口市内の小さな倉庫に、オリジナルのカート型EV「Meguru(めぐる)」がある。丸みを帯びた車体に、3つの車輪が特徴の3人乗りEVで、製作は仕上げの段階に入っている。

モーターで動くEVは、ガソリンで動く乗用車よりも構造が比較的シンプルで生産しやすいとされる。その上、二酸化炭素(CO2)を排出しないエコカーとして普及も見込まれる。

開発のきっかけは昨年春、地元の中小企業仲間と開いた勉強会。EV製作の実績がある「京都EV開発」(京都府城陽市)顧問の講演に触発された。

家電の板金部品の製造で業績を伸ばし、近年は精密機械部品の試作や加工などに取り組んでいる淀川製作所は、兵庫県尼崎市の設計事務所など関西の中小企業3社とEV開発に乗り出すことにした。地場産業を支援する大阪府の補助金も受け、同年10月から本格的にモデル車の開発をスタートさせた。



だが、初めての試みは困難を極めた。そもそも組み立ての基本となる設計図がなく、頼りになるのは完成予想のイメージ図だけ。車軸の傾きや車体の曲線を修正するために板金加工を繰り返す、デザインと合わせるために車輪も取り換えた。一つ一つの作業を手探りで進めるしかなかった。

そこで支えになったのが地元の町工場の仲間たちだった。大手家電メーカーのおひざ元である守口、門真の両市には、金属やプラスチックなどの高い加工技術を持つ町工場が多い。樹脂製のフロント窓やドアをとめる特殊ネジなどは仲間の企業が提供してくれた。

現在はボディーがほぼ組み上がり、内装やドアを取り付ける段階。ボディーの塗装は「メイド・イン・ジャパン」を強調するため、京都のメーカーに依頼して特別に漆塗りを施した。

ドア部分は京和紙の扇子が開くスタイルにする予定で、すでに京都の老舗扇子メーカーに発注済みだ。天井部分と床部分は竹をあしらうことにしている。

「日本を象徴する京都の伝統技術と、守口、門真の匠の技を結集させている。町工場の意地と誇りにかけても日本人にしかできない繊細な車を作りあげたい」と小倉社長は意気込む。

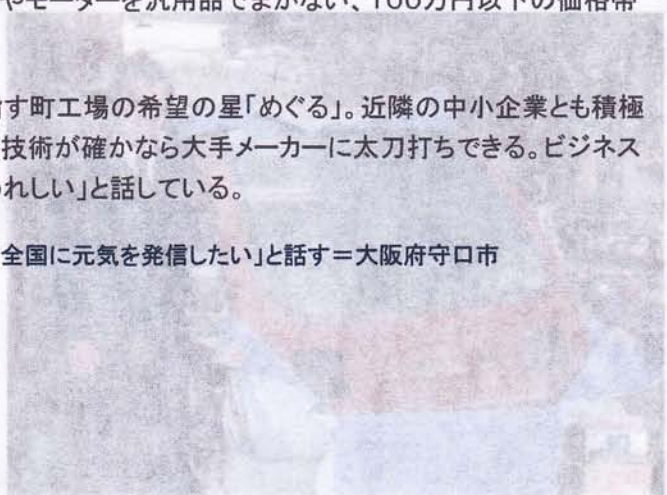
日25月2年1005



モデル車は3月末までに完成させ、公道で走らせるほか、今年いっぱい各地のイベントでPRするつもりだ。将来的にはフレームを自社で加工・製造、バッテリーやモーターを汎用品でまかない、100万円以下の価格帯での市販を目指す。

空洞化する企業城下町で下請けからの脱却を目指す町工場の希望の星「めぐる」。近隣の中小企業とも積極的に協力したいという小倉社長は「小さな町工場でも技術が確かなら大手メーカーに太刀打ちできる。ビジネスチャンスをものにして、地元経済の起爆剤になればうれしい」と話している。

【写真説明】淀川製作所が開発を進めるEV。小倉社長は「全国に元気を発信したい」と話す＝大阪府守口市



◇◇◇
◇◇◇
◇◇◇

◇◇◇
◇◇◇
◇◇◇

◇◇◇
◇◇◇
◇◇◇